

おおやまざき



第86号

発行
平成30年12月1日

この題字「おおやまざき」のデザインは大山崎中学校美術部の作品です

平成30年第1回臨時会(11月1日)

新・大山崎町議会がスタート (2~3ページ)



表紙の写真

大山崎町議会議員一般選挙で選出された町議会議員(任期H30.10.24~H34.10.23)

(後列左から)渋谷進議員、北村吉史議員、西田光宏議員、井上治夫議員、島一嘉議員、嘉志志満議員、辻真理子議員
(前列左から)岸孝雄議員、波多野底砂議員、山中一成議員、井上博明議員、朝子直美議員

主な内容

平成30年第1回(11月)臨時会

【新議会】新しい議会の構成 2 ~ 3

審議結果 4 ~ 5

平成30年第3回(9月)定例会

【決算】こんなことが決まりました 6 ~ 7

一般質問要旨 8 ~ 11

議会のうごき 12

その他の各委員会	午後1時30分	開会予定時間	12月5日(水) 本会議(開会)	12月議会の日程をお知らせします。 ぜひ、傍聴にお越しください。
本会議・予算決算委員会	午前10時	17日(月) 予算決算常任委員会	7日(金) 議会改革特別委員会	
		19日(水) 広報常任委員会	11日(火) 本会議(一般質問)	
		20日(木) 本会議(討論・採決)	12日(水) 本会議(一般質問)	
			13日(木) 総務産業常任委員会	
			14日(金) 建設上下水道文教厚生常任委員会	

がスタートしました！

大山崎町議会議員名簿

議席番号	議員名	所属会派	議席番号	議員名	所属会派
1	島 一嘉	大山崎クラブ	7	辻 真理子	日本共産党議員団
2	西田 光宏	大山崎クラブ	8	朝子 直美	日本共産党議員団
3	山中 一成	大山崎クラブ	9	渋谷 進	日本共産党議員団
4	北村 吉史	大山崎クラブ	10	井上 治夫	日本共産党議員団
5	嘉久志 満	公明党	11	波多野 庇砂	のぞみ
6	岸 孝雄	民主フォーラム	12	井上 博明	日本維新の会

※各議員の住所、電話番号等は町ホームページに掲載しています

10月21日議会議員一般選挙後の初議会において、議長、副議長、監査委員、各委員長などを選出しました。



※議場座席配置のとおり掲載しています

議長抱負



議長
渋谷 進

今回さまざまな経緯をへて、私、渋谷進が、投票回数、くじ引きの結果議長に当選しました。私は、議会が町民の皆様から信頼される行動を第一と考え、議長をお受けしました。信頼される議会となるためには、議員全員が協力すべき点は協力し、民意に応える努力を積み重ねる必要があります。私は、そうした議会に一步でも近づくために、全力で務めさせていただきます。また、議員の皆さんからのお力添えを切に願うものです。

副議長抱負



副議長
波多野 庇砂

副議長の職務を担当することになりました。議長の職務補佐又は必要時の代行業務が主な役目です。なお、他の委員会の独立に影響させない分限です。

監査委員抱負



監査委員
岸 孝雄

この度、新しい議会より監査委員に選出いただきました。常に公平公正で、かつ、偏ることなく、客観的な監査を実施してまいります。

平成30年
第1回(11月)
臨時会

新しい大山崎町議会

総務産業常任委員会 定数6人

役職	議員名
委員長	山中 一成
副委員長	辻 真理子
委員	島 一嘉
委員	嘉久志 満
委員	岸 孝雄
委員	渋谷 進

総務産業常任委員会
(総務部、経済環境課及び会計課の所管に属する事項を審査)



委員長
山中 一成

委員長抱負

総務産業常任委員会は行政管理や農林商工・衛生環境等の意見や要望をまとめ、経過と結果を本会議に報告し、町民の意見を反映させる委員会です。
活気のある委員会運営を心掛け取り組みます。ぜひ常任委員会の傍聴にお越しくたね。

建設上下水道文教厚生常任委員会 定数6人

役職	議員名
委員長	北村 吉史
副委員長	井上 博明
委員	西田 光宏
委員	朝子 直美
委員	井上 治夫
委員	波多野 庇砂

建設上下水道文教厚生常任委員会
(健康福祉部、環境事業部(経済環境課を除く)及び教育委員会の所管に属する事項を審査)



委員長
北村 吉史

委員長抱負

このたびの議会改選により委員長に就任いたしました北村吉史です。
この委員会は住民生活に直結する議案が多く、委員長として活発な議論を促し、住民生活を守る立場で頑張つてまいりますので、よろしく願っています。

予算決算常任委員会 定数10人

役職	議員名
委員長	西田 光宏
副委員長	朝子 直美
委員	島 一嘉
委員	山中 一成
委員	北村 吉史
委員	嘉久志 満
委員	辻 真理子
委員	井上 治夫
委員	波多野 庇砂
委員	井上 博明

予算決算常任委員会
(予算及び決算に関する事項を審査)



委員長
西田 光宏

委員長抱負

本町が執行する事業を予算決算面から審査する重要な機関であり、議会人として大変やりがいのある委員会の委員長に選出されました。
住民の皆様にとって何が大切かをしっかりと見極め、迅速で確実な運営に努める所存であります。

議会改革特別委員会 定数12人

役職	議員名
委員長	岸 孝雄
副委員長	井上 治夫
委員	(正副委員長以外の)全議員

議会運営委員会 定数6人

役職	議員名
委員長	朝子 直美
副委員長	嘉久志 満
委員	山中 一成
委員	岸 孝雄
委員	波多野 庇砂
委員	井上 博明

広報常任委員会 定数6人

役職	議員名
委員長	辻 真理子
副委員長	島 一嘉
委員	嘉久志 満
委員	岸 孝雄
委員	波多野 庇砂
委員	井上 博明

一部事務組合等議員に選出された議員

乙訓消防組合
山中 一成
朝子 直美

乙訓福祉施設事務組合
西田 光宏
嘉久志 満
辻 真理子

乙訓環境衛生組合
北村 吉史
井上 治夫
井上 博明

後期高齢者医療広域連合
波多野 庇砂

地方税機構
渋谷 進

議案に対する各議員の表決結果をお知らせします！

平成30年第1回(11月) 臨時会

◇全員が賛成であった議案等

議案番号	議案名 (議案情報)	議決結果
52	専決処分の承認を求めることについて(平成30年度大山崎町一般会計補正予算(第3号)) ◆ 台風第21号により被害の生じた天王山ハイキングコースや第二大山崎小学校などの公共施設等の災害復旧事業に必要な予算4,650万円を増額する補正予算の専決処分	承認
53	大山崎町監査委員の選任について(岸 孝雄さん)	同意
54	大山崎町自治功労者の表彰について(高木 功さん)	同意
55	大山崎町自治功労者の表彰について(渋谷 進さん)	同意
56	大山崎町自治功労者の表彰について(朝子 直美さん)	同意
発議2号	大山崎町議会委員会条例の一部改正について	原案可決
決議3号	議会改革特別委員会の設置に関する決議案	原案可決

※第53号～第56号議案名のあとの()内は選任、表彰される方のお名前を記載しています。

平成30年第3回(9月) 定例会

◇賛否が分かれた議案等◆

【賛成：○ 反対：×】(議席順に掲載)

議案番号※	議案名 (議案情報)	議決結果	西田光宏	森田俊尚	山中一成	北村吉史	岸孝雄	高木功	辻眞理子	朝子直美	渋谷進	前川光	波多野庇砂	小泉満
35	大山崎町税条例等の一部改正について ◆ H30.3.31地方税法改正にともなう個人所得課税やたばこ税の見直しを行う条例改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	議長のため採決には加わらない
42	平成29年度大山崎町一般会計歳入歳出決算認定について ◆ 詳細はP6～P7をご覧ください	認定	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
46	平成29年度大山崎町後期高齢者医療保険事業特別会計歳入歳出決算認定について ◆ 歳入総額 2億5,850万1,000円 歳出総額 2億5,097万円 歳入歳出差引額 753万1千円 実質収支額 753万1千円	認定	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
50	平成29年度大山崎町水道事業会計決算認定について ◆ 収益的収入額 4億2,554万円 支出額 4億2,137万円 資本的収入額 8,872万円 支出額 1億642万円	認定	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	
請願1号	第二保育所の存続を求める請願書 ◆ 第2保育所の廃園を白紙に戻し保護者等と協議すること、来年度以降も全年齢児を受け入れることを求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	
決議2号	2025年国際博覧会の誘致に関する決議案	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	

◇全員が賛成であった議案等◇

議案番号	議案名 (議案情報)	議決結果
34	専決処分の承認を求めることについて(平成30年度大山崎町一般会計補正予算(第1号)) ◆ 木造住宅の耐震診断・簡易改修の助成枠拡大に必要な予算775万円を増額する補正予算の専決処分	承認
36	平成30年度大山崎町一般会計補正予算(第2号) ◆ 詳細はP7をご覧ください	原案可決
37	平成30年度大山崎町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
38	平成30年度大山崎町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
39	平成30年度大山崎町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
40	平成30年度大山崎町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
41	平成30年度大山崎町水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
43	平成29年度大山崎町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について ◆ 歳入総額 17億4,081万2,000円(前年度比3%減) 歳出総額 15億9,235万1千円(前年度比3%減) 歳入歳出差引額 1億4,846万1千円 実質収支額 1億4,846万1千円	認定
44	平成29年度大山崎町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について ◆ 歳入総額 10億5,634万9,000円(前年度比95.4%増) 歳出総額 10億3,862万1千円(96.4%増) 歳入歳出差引額 1,772万8千円 実質収支額 1,374万8千円	認定
45	平成29年度大山崎町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について ◆ 歳入総額 14億3,768万3,000円(前年度比8.4%増) 歳出総額 13億6,935万5千円(前年度比11.2%増) 歳入歳出差引額 6,832万8千円 実質収支額 6,832万8千円	認定
47	平成29年度大山崎町大山崎区財産管理特別会計歳入歳出決算認定について ◆ 歳入総額 2,965万9,000円 歳出総額 186万1千円 歳入歳出差引額 2,779万8千円 実質収支額 2,779万8千円	認定
48	平成29年度大山崎町円明寺区財産管理特別会計歳入歳出決算認定について ◆ 歳入総額 332万4,000円 歳出総額 37万3千円 歳入歳出差引額 295万1千円 実質収支額 295万1千円	認定
49	平成29年度大山崎町下植野区財産管理特別会計歳入歳出決算認定について ◆ 歳入総額 13万1,000円 歳出総額 12万円 歳入歳出差引額 1万1千円 実質収支額 1万1千円	認定
51	大山崎町教育委員会委員の任命について(榎本 和彦さん)	同意
諮問2号	人権擁護委員候補者の推薦について(山本 加根子さん)	適任と認め推薦に同意

※第51号、諮問第2号議案名のあとの()内は任命、推薦される方のお名前を記載しています。

※議案番号等は平成30年第1回定例会からの通し番号です。

【討論の状況】 本会議の表決前に交わされた討論の状況をお知らせします(討論の内容は会議録をご覧ください)

議案番号	議案名	反対の立場で討論	賛成の立場で討論
35	大山崎町税条例等の一部改正について	渋谷 進	
42	平成29年度大山崎町一般会計歳入歳出決算認定について	朝子 直美 波多野 庇砂	森田 俊尚 岸 孝雄
50	平成29年度大山崎町水道事業会計決算認定について	渋谷 進	波多野 庇砂 北村 吉史
請願1号	第二保育所の存続を求める請願書	岸 孝雄 北村 吉史 高木 功	朝子 直美
決議2号	2025年国際博覧会の誘致に関する決議案	渋谷 進	西田 光宏

審議内容のうち主なものを次のとおり紹介します。
審議結果は4・5ページをご参照ください。

平成29年度一般会計決算
歳入額 67億2,325万9千円
(対前年度比 14.9%増)
歳出額 64億8,637万4千円
(対前年度比 13.6%増)



決算を賛成多数で認定

平成29年度
一般会計決算

歳入 町民税は約3億円の増収 町債の残高も大幅増

町民税 12億2,987万2千円 **UP!**

前年度と比べ、個人分は3,099万円、法人分は大手企業の業績により2億8,214万円増加した。

ふるさと応援寄付金(ふるさと納税) 6,506万5千円 **DOWN!**

平成29年度中に国の通知に従い高額な返礼品の見直しを行ったことにより、前年度から約1千万円、13%の減収となった。

なお、委員から今後のふるさと納税のあり方について質疑があり、今後はふるさと応援の趣旨に立ち返り、天王山の整備事業などへの寄付を募る形も検討している旨答弁があった。

→(その後)10月から台風21号で甚大な被害を受けた天王山の復旧に充てるふるさと応援寄付金の募集がスタート(詳細は町ホームページをご覧ください)

町債の残高 60億8,480万3千円(うち臨時財政対策債※1) 36億874万9千円 **UP!**

平成29年度末の町債残高は、前年度に比べ7億2,518万円の大幅増となった。なお、うち5億5,150万円は緊急防災・減債事業債※2)の借入れ。

平成29年度の借入れの主な事業内訳は、同報系防災行政無線の整備(9,720万円)や第二大山崎小プール移転(7,130万円)、町体育館の施設改修工事(4億5,330万円)などで、ほかに臨時財政対策債が3億4,820万円であった。

【参考】近年の町債残高の推移

平成28年度末 53億5,961万4千円

平成27年度末 52億1,287万5千円

平成26年度末 50億2,231万3千円

※1 臨時財政対策債：元利償還金相当額の全額が後年度に交付税措置される

※2 緊急防災・減債事業債：元利償還金相当額の7割が交付税措置される

M 平成29年度一般会計の経常収支比率(家計でいえば、
E 生活費など毎月必要な支払が収入に占める割合)は
M 91.3%で6.5ポイント改善
O (※高いほど財政が硬直化していることを表す)

【参考】近年の経常収支比率の推移
平成28年度 97.8%
平成27年度 96.0%
平成26年度 99.2%

平成29年度
一般会計決算

歳出(総務費・衛生費) 防災行政無線の改善を 資源ごみを出しやすく



同報系防災行政無線整備工事 9,720万円 **UP!**

平成29年度に整備した防災行政無線について、「聞き取りにくい」という多くの住民の声を受け、委員から改善状況について質疑があり、今年8月中に改善のためのテスト放送を行った結果、より聞き取りやすい放送方法の目途が立った旨の答弁があった。

じん芥処理事業 7,755万円

委員から災害ごみの処理について質疑があり、現在、災害廃棄物処理計画の策定に向けて、乙訓環境衛生組合や向日市、長岡京市と協議している旨答弁があった。

また、現在83ヶ所に設置されている資源ごみの収集場所について、全種収集時には指導員を配置している旨の説明があり、各委員からは**住民が出しやすい場所への設置**を求める意見があった。

資源ごみの収集場所





平成30年
第3回(9月)
定例会

こんなことが決まりました

平成29年度 一般会計歳入歳出

平成29年度
一般会計決算

歳出(農林水産業費・商工費)

有害鳥獣対策の強化 観光トイレの排水対策を

有害鳥獣捕獲対策事業 26万円ほか

イノシシやアライグマなどが住家付近にたびたび出没している状況を受けて、各委員から有害鳥獣対策の強化を求める意見があり、町としては現在、先進自治体の例を参考に、町職員が中心となって追い払いに取り組んでいること、今後は地域住民と協働してさらに対策を進めていきたい旨の答弁があった。

小倉神社前の観光トイレ



観光トイレ(小倉神社前)整備事業 2,211万2千円 UP!

平成29年度に整備された観光トイレについて、委員から今年7月の大雨で雨水が流れ込んだ状況について質疑があり、町としては、平成30年度の小倉口公園の周辺整備工事において、側溝を設けるなどの雨水排水機能を改善する予定である旨の答弁があった。

平成29年度
一般会計決算

歳出(教育費)

町体育館の天井材落下、安全対策、再発防止を

町体育館施設整備工事 4億9,004万円 UP!

平成29年度末に施設改修が完了し、リニューアルオープンした町体育館について、今年6月の大阪北部地震で天井材の一部が落下した事態を受け、各委員から工事設計・施工段階における問題の検証を求める意見や、現場主義が欠落しているとする指摘のほか、町内最大の避難所であるため安全点検の徹底を求める要望があった。

また、今後の再発防止策について質疑があり、町として、施工上の不備を認めた施工業者及び工事監理業者に対して3ヶ月間の指名停止処分を行ったこと、今後は京都技術サポートセンターと連携を密にし、施工業者や工事監理業者への指導を徹底して再発防止に努める旨の答弁があった。

地震で天井材の一部が落下した町体育館



MEMO 平成29年度各会計決算額の詳細は「広報おおやまざき」11月号をご参照ください

平成30年度
一般会計補正予算

耐震診断・改修補助を拡充

天王山作業道等の災害復旧

早稲田地域の急傾斜地安全対策

なごみの郷・長寿苑の給湯設備工事

6月大阪北部地震や7月豪雨災害への対応をはじめ、なごみの郷等の給湯設備更新、減債基金への積立てなどに必要な予算約2億8千万円を増額する補正予算案を全員賛成で承認・可決した。

- ・耐震診断・耐震改修補助事業 (850万円)
※詳しくは「広報おおやまざき」10月号をご覧ください
- ・天王山作業道復旧工事 (500万円)
→7月豪雨で損壊した天王山作業道の復旧
- ・文化財補助金 (600万円)
→大阪北部地震で被災した文化財の補修補助
- ・大山崎小学校災害復旧工事 (200万円)
→地震で損傷した南校舎屋外スロープの復旧
- ・ふるさとセンター施設整備工事 (130万円)
→1階・3階トイレのバリアフリー化
- ・早稲田地域の急傾斜地安全対策事業 (240万円)
→京都府が進める災害防止事業の地元負担金
- ・なごみの郷・長寿苑施設整備工事 (2,260万5千円)
→老朽化のため故障している給湯設備の更新(工期は12月~1月を予定)
なお、委員からは長寿苑の風呂利用の実態を踏まえて運用の見直しを検討するよう求める意見があった。
- ・基金積立金 (1億円)
→今後の公債費(借金返済)の増加に備えて積立

一般質問

第3回定例会(9月議会)では、11人の議員が一般質問に立ち、当面する本町の課題について、町の考えをいただきました。質問と答弁の内容を要約し、お知らせします。

前川 光議員……P 8
❖山本町長の危機管理について

山中 一成議員……P 9
❖山本町政4年間の主要施策について

渋谷 進議員……P11
❖被災町民への町の支援について

岸 孝雄議員……P 8
❖地震時等の対応と課題について

波多野庇砂議員……P10
❖地方交付税、町債務について

北村 吉史議員……P11
❖円明寺地域の課題について

高木 功議員……P 9
❖水道施設整備計画について

朝子 直美議員……P10
❖町が行う工事の行政運営について

森田 俊尚議員……P11
❖山本町政の4年間の評価について

辻 真理子議員……P 9
❖災害時の避難、対策について

西田 光宏議員……P10
❖危機管理について

一般質問・答弁は、会議録に全文を掲載しており、町ホームページの「会議録検索システム」でご覧いただけます。

※掲載内容は、一般質問をもとに各議員が作成しています。(質問順に掲載)

前川 光議員
(所属会派Ⅱ光会)



1. 山本町長の危機管理について

問 今年7月5日からの豪雨による避難勧告等における役場対応の時間的経緯を問う。

答 7月5日の午前3時34分に土砂災害に関する大雨警報が発表されたことを受けて、災害警戒本部を設置し、気象情報の収集、排水ポンプ場の体制確認などを行った。その後、午前7時頃から雨脚が強まり、時間雨量にして15mmや20mmといった強い雨が続いたことから、土壌雨量指数が基準値を超過し、気象台と京都府が土砂災害警戒情報を発表した。

これを受け、本町においても午前9時の時点で避難勧告を発令し、ふる

さとセンターと第二大山崎小学校を避難所として開設した。

なお、避難所開設という事態に至ったので、児童生徒の安全を最優先に考慮し、小中学校及び保育所については休校、休園を決定した。

午前10時19分には、大山崎排水ポンプ場において外水位が9.5mに達したことから、ゲートを閉鎖してポンプ運転を開始した。また、午前11時17分には、下植野排水ポンプ場において外水位が10.8mに達したことから、やはりゲートを閉鎖し、ポンプ運転を開始した。

岸 孝雄議員
(所属会派Ⅱ民主フォーラム)



1. 大阪北部地震及び西日本豪雨時の町の対応の総括と今後の課題について

問 大阪北部地震及び西日本豪雨時の町の防災体制及び災害発生時の対応についての総括と今後の課題について問う。

答 西日本豪雨時は気象情報の収集、排水ポンプ場の体制確認などを行ない、避難所を開設し、児童生徒の安全を最優先に考慮して、小中学校及び保育所の休校、休園を決定した。桂川の水位上昇により、避難準備・高齢者等避難開始、次いで避難指示(緊急)を発令、いつになく緊張感を要する事態となったが、円滑な対応ができたものと認識している。

また、地域の防災意識も

高まり、対応力の強化が進んでいると感じる。

問 大阪北部地震をうけ、町内の危険箇所の認識と特に子ども達の通学路上の危険箇所についての情報共有について問う。

答 学校現場で防災教育を推進し、子どもたち自身の防災力を高め、家庭内での防災意識の高揚、さらには地域防災への参画へと繋げていきたい。

6月22日から7月3日までの期間、町立の両小学校の通学路におけるブロック塀調査を実施し、民家の塀など647か所を点検した。その結果、安全基準を満たさない疑いのあるブロック塀を276か所確認した。

町では、通学路交通安全プログラムに基づくパトロールを活用するなどして、ブロック塀の状況変化を継続的に確認していく必要があると考えている。

高木 功議員 (所属会派Ⅱ公明党)



1. 水道施設整備計画について

問 第1期施設整備計画に基づき、平成26年度からスタートした水道施設老朽化対策の進捗状況を問う。

答 仏生田第2受水場の築造と新規送水管の布設を進めるとともに、災害等による断水時の応急給水拠点も整備した。これにより、耐震化率は基幹管路が6・8%から28・6%、管路全体で8・5%から17・4%と向上している。

今後の管路や水道施設については、メリハリのある改築更新を進めることが重要である。

2. 地籍調査について

問 平成28年度以降の進捗を問う。

答 本町では、平成28年度から町内を11の地区に分けて地籍調査を開始している。

1地区につき3年を要し、1年目に土地情報を法務局で調査、2年目に地権者と現地立会、3年目に図面を作成して法務局へ登記する。

1地区につき3年間の工程に、次の地区の2年間の工程を並行させ、町内11地区を14年の計画で進めるため工程管理を行っている。

3. 中学校給食導入について

問 中学校給食導入に向けて、これからの具体的なスケジュール等を問う。

答 平成30年度中に基本設計業務を終えて、平成31年度に給食センター及び中学校配膳室整備工事に着手する。工事完成時期は平成32年6月を目途として、同年9月の2学期から中学校給食実施と計画している。

辻 真理子議員 (所属会派Ⅱ日本共産党議員団)



1. 災害時の避難、対策について

問 7月5日豪雨では、土砂災害等の避難指示等が発令され、避難所が開設された。避難の際、食糧や毛布を持参し、車での避難を避けるようにと防災情報メールが届いたが、「避難したくても避難できなかった」等の声を聞いている。

問 避難された方の、避難手段を把握しているか。

答 特に調査は行っていない。引き続き、徒歩避難を呼びかけていく。

問 例えば、避難準備情報が発令された後、長寿苑バスを避難所までの送迎に利用することを提案するが、可能か。

答 避難は「自分の命を自分で守る」ことが安心

安全確保に最も効果的である。送迎バスは問題も多く現実的でない。

問 民間の施設等を含めた「近隣の避難場所」を準備する事を提案するが、可能か。

答 防犯面など施設管理上の懸念等があり、難しい。

問 ハザードマップ更新の進捗状況はどうか。

答 今年度中に新ハザードマップを配布する。

問 早稲田急傾斜地崩壊対策事業の進捗状況を問う。

答 今年度に京都府が早稲田地区の測量、地質調査及び設計を実施し、地元説明会を開催する予定である。

問 避難行動要支援者の個別避難計画策定の進捗状況を問う。

答 現時点で避難行動要支援者数は500名を超え、計画策定に苦慮している。まずは自分や家族の安全を自分たちで守る「自

山中 一成議員 (所属会派Ⅱ大山崎クラブ)



1. 山本町政4年間の主要施策について

問 防災行政無線導入の目的と財源は何か。

答 町内全域に瞬時に緊急情報を音声で届け、また職員を避難所運営など災害対応に当てることができる。

問 財源は緊急防災・減災事業債を活用している。町の実質負担は、毎年100万円に満たない。

問 体育館改修の目的と財源は何か。

答 スポーツ等を通じた健康づくりの拠点や、災害時には避難所施設として利用する。財源は主に緊急防災・減災事業債を活用している。当該年度の単費負担は実に55万7千円である。

問 観光振興、交流イベント等の目的と財源は何か。

答 定住人口の増加を視野にまちの持続性を高めるため、地方創生加速化交付金7千609万円を財源として実施している。

問 都市計画税の使途は何か。さらなる増税という噂があるが、本当なのか。

答 公共下水道事業に充当しており、さらなる増税の予定はない。

問 複合ビル20億円プランという噂は本当なのか。

答 ここに保育所を含めるのか。正確ではない情報で作られたニュースであり、保育所を再整備に含めることはない。

問 町債残高増加について説明を求めます。また、「税金の無駄遣い」という声があるが、どう答えるのか。

答 町債残高は府内市町村で5番目に少ない状況である。また、全てが不可欠な事業である。

波多野 庇砂議員 (所属会派Ⅱのぞみ)



1. 地方交付税、町債務について

問 現山本町政で大幅に交付税が減額された。具体的な減額とその理由は何か。
答 地方交付税は、財源の不均衡を調整し、どの地域の国民にも一定の行政サービスを提供できる財源を保障するもので、基礎数値に基づき算定される。
普通交付税が減額となった主な要因は、基準財政需要額で、障がい児保育経費にかかる交付税措置の見直し等により、対前年度1億5千万円の増額となつた一方、基準財政収入額で、町内企業の業績等の影響により、対前年度2億6千万円の大幅増額となつたため、交付額が1億4千569万円の減額となった。
問 現町政は、借金財政

の拡大に伴う交付税の拡大を目指している形であり、身の丈を上回る借金の拡大は、住民生活に大きく影響するが、いかがか。
答 交付税措置のある地方債の活用を図り、普通交付税の配分が多くなる財政運営を目指す。

問 平成31年3月末日における町債の残高は。
答 今年度末の町債の残高見込額は、62億9千714万円である。

問 町債約13億円の大幅アップは町長公約になく、資金計画のない形で大型事業を進めたことになるのでは。
答 借金返済のための基金に積立している。

問 町の公的資金に関わる事業で被害が生じた場合保険適用が可か。
答 全国町村会総合賠償補償保険に加入しているが、地震の場合、保険金は支払われない。

朝子 直美議員 (所属会派Ⅱ日本共産党議員団)



1. 町が行う工事の行政運営について

問 第二大山崎小学校プール等撤去工事の追加工事は、工事費用が当初予算額の5倍以上になるにもかかわらず、契約の変更のみで行う提案がされた。今後、本町では、工事の追加が必要な場合、当初予算の何倍になっても契約の変更のみで行う考えか。
答 本町においては、国におけるガイドラインのような明確な定めはなく、従前から慣例的に国の定めに基づいている。今後の工事においても国の定めに基づいた対応を行う。

問 第二大山崎小学校プール跡地に建設中の民間保育園整備にあたって平成30年度当初予算案にない町単独の補助金(上限4千500万円)を議会の議決を経ずに執行しようとしている。これは議会を形骸化し、町行政の民主的運営を損なう行為であり、決して前例としてはならないと考えるいかがか。
答 今回の補助金は、平成30年度当初予算の保育所整備事業の補助金3億910万円の既決予算の中から執行することとしている。民間保育所整備にかかる同一目的のもとでの執行であり、特段の問題はないと考えている。

他に、国民健康保険税の引き下げを求める質問を行った。

2. 民間保育園整備に対する当初予算にない町単独の補助金の執行について

西田 光宏議員 (所属会派Ⅱ大山崎クラブ)



1. 危機管理について

問 同報系防災行政無線が聞き取り難いとの声に対する対策と放送内容の確認方法は。
答 テスト放送による速度や音量、読み上げの文節間隔、声の高さなど諸条件の設定の調節等を踏まえ改善をする。確認方法としては、町のホームページ、テレビのテロップ、町防災・防犯情報メール、エリアメールで情報発信をしている。

問 今後新たな避難所(施設)を設ける考えはないか。
答 民間マンションや企業を避難所として利用できないか検討を進め、一定の条件下で合意に達している。それ以外は現在利用に至ってはいない。

再質問 J R山崎駅横にある駐輪場の活用はできないか。ふるさとセンターより確実に高台にあり、現在2階から上のスペースで使用していない部分がある。そこを臨時の避難施設として応用し、特にペット連れの避難等も可能とするなど、柔軟に考えることは出来ないか。その他の地域でも、町の既存施設を避難場所に応用出来るのではないか。

問 用途、使用の問題などがあるが、今後検討していく。
他に両小学校における児童数の推移等について質問した。

問 今後の課題として検討

渋谷 進議員 (所属会派 日本共産党議員団)



1. 災害の被災町民への町の支援について

問 災害の時こそ暮らしを支える姿勢が町政にあるかが明らかになる。災害時の対応は二つある。

一は、災害予報↓発生中→災害後のプロセスに対応したもの。二は、被災した住民の暮らし再建に関するもの。

災害時プロセスに関する町の答弁で、避難困難者への手当ては、結局、「自己責任で命を守れ」状態である実態に、何の懸念も心配も感じられなかったのは極めて憂慮すべき事態だ。

そこで、被災後の暮らし再建について3点質問する。

地震・台風被害による家屋被害への町独自の支援

策は考えないのか。

答 家屋被害への公金投入は、個人資産の形成に投入する事であり、公平性の観点から本来行うべきでない。災害等に対する資産保全は、各個人が地震保険等へ加入し備えるべきと考える。

問 危険なブロック塀の点検結果は。またブロック塀改修への支援は行わないのか。

答 危険なブロック塀の問題についても、個人資産形成への公金投入であり、国等の動向を見ながら慎重に判断する。

問 大阪北部地震屋根被害への支援対象が公平性を欠く運用になっている点を改善する考えはないのか。

答 屋根被害への補助申込が8月6日からさかのぼったものに適用できない件については、この制度の町負担分7万5千円を単独事業として助成できるように補正予算を組んだ。

北村 吉史議員 (所属会派 大山崎クラブ)



1. 円明寺地域の課題について

問 円明寺が丘自治会館は、第二大山崎小学校区で唯一の投票所となっており、また地域住民の様々な活動の拠点となっている。

大規模地震に備え、住民の安心・安全のために、まずは耐震診断が必要ではないか。また仮にis値が低い場合の対策はされるのか。

答 本町内の集会施設に建物診断の義務付けはないものの、老朽化等の課題を抱えた他の施設も含め、総合的・計画的な対応をしたい。

問 南円明寺団地につながる中池横の歩道は、大雨が降ると冠水してしまい、歩行困難になる。早

急な対策が必要ではないか。

答 現地を確認し、修繕の時期や方法を検討し、速やかに対策を実施したい。

問 土砂災害警戒地域である久保川周辺の河川改修の必要性について、現状の川幅では、土石流が発生した場合や斜面が崩壊した場合、道路は削られ、場合によっては住宅にも人命にも被害が発生すると予想できる。

拡幅を含めた災害に強い改修を府と協議を進めてはどうか。

答 河川改修は下流からの改修が必要であり、府に対し、改修や維持管理合わせて砂防施設の適切な維持管理を要望する。

その他、教育施設整備のあり方について、耐震化が完了した校舎の長寿命化を鑑みた大規模改修、グラウンドの整備、防球ネット整備などの質問をした。

森田 俊尚議員 (所属会派 大山崎クラブ)



1. 山本町政の4年間の評価について

問 現山本町長は、先の選挙戦で、現在の大山崎町の状況を冷静に分析し、あえて自分の首を絞めかねないほどの厳しい公約を打ち出した。それが保育所の民営化と都市計画税の導入である。

河原崎元町長が断腸の思いと、未来への活路を拓くために打ち出した政策をしっかり引き継ぎ、山田府知事をはじめ乙訓2市首長ともスクラムを組み、保守本流のコースとして有権者の信任を得て、堂々と圧勝したわけである。

あれからはや4年の歳月が流れたわけであるが、山本町長はこの4年間、自らの公約事項をほぼ1

00%達成したものと認識しているか。

答 私は、まず国・府・近隣市町との協調関係を回復し、強固な信頼を得るまでに至った。これは単なる友好関係ではなく、私が就任後の4年間で実に20億円以上の補助金を獲得したことに如実に現れるものである。この数字は通常のな制度補助ではなく、純粋に政策的・臨時的な数値である。

また、この間、精力的にまちづくり懇談会を開催し、各種団体のみならず、広く地域住民の意見に耳を傾け、留守家庭児童会の移転問題や保育所民営化問題でも、保護者会としっかり意見交換を行った。

私は、この4年間で約束した公約を達成できたと確信している。この4年間でまいた種が必ず近い将来に大きく育って、花が咲き、実を結びと信じている。

議会ニュース

◆会議録検索システムのトップページをリニューアル

大山崎町ホームページに掲載している町議会の本会議会議録検索ページをリニューアルし、トピック(話題)検索がより便利になりました。

気になるトピックを「選択」すると、町議会の本会議会議録の中からトピックに関連する各議員の一般質問や町長・教育長の答弁、交わされた討論が一覧表示されます。ぜひご利用ください。

(右のQRコードを読み取ると会議録検索システムのページにとびます)



◆委員会がより気軽に傍聴できるようになりました

平成30年第3回(9月)定例会から、委員会の開催中、各委員会が開催される第1委員会室(役場庁舎4階)の外(同階ロビー等)にスピーカーを設置することにより、より気軽に傍聴していただける環境になりました(第1委員会室に入室しなくても、4階ロビー等で傍聴できます。)

議案等の審査が行われる各委員会の傍聴にぜひお越しください!

議会のページ

●閉会中の委員会開催なし

★議会運営委員会

11月1日(木)

第4回定例会の日程について

11月28日(水)

第4回定例会予定付議事件の説明

★広報常任委員会

10月5日(金)

「議会だより第86号」編集について

11月16日(金)

「議会だより第86号」編集について

★全員協議会

11月28日(水)

住民監査請求について

●10月21日(日)大山崎町議会議員一般選挙が執行されました

(選挙結果は広報おおよまざき11月号及び町HP、新しい議員名簿は2ページ参照)

●11月3日大山崎町自治記念式典において、12年間町議会議員を務められた高木前議員、朝子議員、渋谷議員が自治功労者として表彰されました

町議会に対するご意見やご質問、ご感想等がありましたら、町議会事務局までお寄せください。

☎618-8501 大山崎町字円明寺小字夏目3番地
大山崎町議会事務局 まで
電話(075)956-2101
Fax(075)953-6020
メール(右のQRコードを読み取って送信してください)



- 広報常任委員会
- 辻 真理子 委員長
 - 島 一嘉 副委員長
 - 嘉久志 満 委員
 - 岸 孝雄 委員
 - 波多野 庇砂 委員
 - 井上 博明 委員

編集後記



広報常任委員会の役割は、議会広報誌「議会だより」の作成をはじめとする議会広報を充実することです。今回の86号から新しい広報委員による編集が始まりました。

4年前から議員によって編集した「議会だより」を発行し始めて、町民の皆様が読みやすく、また議会がどのような活動を行っているのかわかりやすく、「議会豆知識」を連続掲載したり、議案名だけではなく議案の内容を記載し、表決前の討論についてもホームページで検索しやすいように情報を載せるなど工夫してまいりました。また、親しみやすい表紙の題字「おおよまざき」を大山崎中学校の美術部に依頼して掲載してまいりました。

新広報常任委員会では、さらに町民の皆様が議会活動への関心や興味をもつていただけるような広報紙面になるよう取り組んでいきたいと思っております。

ご意見やご感想がありましたら、ぜひお聞かせいただけますようお願いいたします。

(辻 真理子)